

「8 J 9 A Q A」黒部市市制施行50周年記念式特別局の運用について

J A R L黒部クラブ 会長 高村浩之

1、はじめに

私が住んでいる黒部市は昭和29年4月に桜井町と生地町が合併してから、平成16年に市制施行50周年を迎えることとなりました。J A R L黒部クラブでは、市制施行50周年を全国にアマチュア局にPRするとともに、健全な無線技術の育成を目的に黒部市市制施行50周年記念式特別局を行いましたので、ここに報告します。

2、記念局が運用できるまで

平成15年にJ A R L富山県支部に打診をかけたところ、特別局開設申出書（行事の内容、無線局の運用計画、収支予算案）と記念式特別局実行委員会名簿、組織図、黒部市市制施行50周年に係る資料の提出の要請がありました。実行委員長は富山県支部長である花岡氏、副委員長はJ A R L黒部クラブ会長である高村が行うこととし、会計委員、委員を決めていきました。（委員はみんなJ A R L会員です）運用期日は50周年記念式典が行うであろうと思う期日（11月6日・この時期は決定していなかった）を中心に29日間、コールサインを黒部市のシンボルである水（A Q U A）を略し「8 J 9 A Q A」として申請しました。

平成16年2月に行われた理事会で無事、承認され、3月にはJ A R Lに特別局等の申請・運営等に関する調査票、アマチュア局開設同意書、また「市制施行50周年記念事業」の名義及び「市制施行50周年記念テーマ」の使用許可に関する書類を黒部市にお願いして作成していただき、合わせて提出しました。

3、Q S Lカード

特別局のQ S Lカードは2種類のカードを各2千枚、合計4千枚作成しました。写真1のカードは黒部市商工観光課から黒部川扇状地と湧き出る清水の合成写真で、黒部市観光パンフレットにも使用されているもので、とても綺麗なカードになっています。写真2のカードは金沢市立玉川図書館近世資料館にある「下道中絵巻」に見る黒部川で、江戸時代の北陸道、黒部川周辺の地図が記載されています。私が住んでいる沓掛地区も記載されており、大変気に入っていますが、担当者が金沢市に行って申請しましたが、なかなか許可がおりず、苦労したそうです。（武隈さんT N X !）

4、特別局運用

運用が始まる10月23日と24日は黒部市農村環境改善センター（前沢公民館）にて行いました。ベランダにポールを立てそこに7MH z ツェップとT 2 F D（途中10MH z ツェップに交換）、そして144MH z 10エスタックを付けてスタートしました。

時期的にHFハイバンドはC Qをしても応答が無く、144MH z もちらほらという状況であり、実質は7MH z が中心となりました。合併に伴う市、郡の移動運用がにぎわっていましたがC Qをかけたところパイルになり、冷や汗をかきながらの運用でした。2日

間で700局ぐらい交信できました。平日の日中は運用する局員がいないので、夜間の運用が中心となりました。

それからJA9コンテストHF部門に参加しましたし、自宅の近くにある黒部川の堤防に数回、移動して運用を行いました。アンテナは富山県支部の集いにて購入した釣竿アンテナを使用しました。セッティングが楽で組み合わせたあと、車の後部のラダーにつけてあるモバイルアンテナ用基台に取り付けての運用でした。思い出としては黒部市移動運用中に電源ケーブルを足に引っ掛けて端子を壊してしまい、慌ててホームセンターへ行ったことや、黒部川堤防にて運用中パトカーに職務質問されて、狩猟シーズンだから流れ弾に当たるぞと言われ、体を伏せながら交信したことがありました。(無事に帰りました)

10月23日から11月20日までで2131局と交信することができました。運用が終わったあとは、特別局の運用報告書、収支報告書とQSLカードをJARLに送り、QSLカードにデータを入れてJARLビューロに送ったのが平成17年1月でした。運用会場ではJARLから送付されたパンフレットを掲示、配布を行い、微力ではありますが黒部市市制施行50周年やアマチュア無線のPRができたと思っています。

5、最後に

黒部市市制施行50周年記念式特別局実施に御尽力いただきました、黒部市、JARL、JARL富山県支部、黒部市在住・平野様に深く御礼申し上げます。

